

# ウォータークリーンSG工法

厚生労働省の「石綿飛散漏洩防止対策徹底マニュアル [2.10版]」において、石綿則第6条ただし書きにより粉じん飛散防止に関し隔離措置と同等の措置と判断しうる工法

## 工事現場の水道水を使用し、剥離した廃材と汚水を同時吸引。粉塵飛散させません。

湿式バキュームグラインダー(特許番号 第 6482142 号)(湿式集塵装置付きグラインダー)を使用し、塗装塗膜含有アスベスト・セメント系無機質下地調整材除去に対応。



## 小規模工事やクラック補修などに最適!



露筋・欠損部



塗膜浮き部

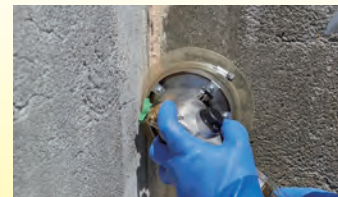
### 従来の乾式集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法の問題点

- 1 湿潤の効果が低い
- 2 発塵しやすい
- 3 フィルターの消耗が激しく、吸引力が低下しやすい
- 4 除去物処理に手間がかかる

## マルホウが問題解決!

### 1 湿潤の効果が高い

常時水を点滴しながらグラインダーを駆動でき、除去物と躯体を乾燥させずに作業できます。また、エア駆動のため感電の危険性がありません。



### 2 発塵しにくい

乾式グラインダーは軽く乾いた除去物が発塵しやすいが、ウォータークリーン SG 工法では常に湿潤しているため飛散しにくく吸引も確実。カバーを使用すればしっかりと圧着し、不陸等にも対応します。

### 3 吸引力が低下しない

濾過システム内で除去物と空気を自動分別可能なため、吸引力・捕集効率の低下を抑えることができ、モーター等の焼き付きや機械損耗も防止します。



### 4 除去物は飛散させず自動処理

除去物は自動分別し、外気にも触れません。現場を汚さず、環境や作業員にも安心・安全です。

